

主要参考論文・参考書一覽表

○伊藤博 『萬葉集の構造と成立』 上・埼書房

昭和四十九年

○伊藤博 『萬葉集の構造と成立』 下・埼書房

昭和四十九年

○伊藤博 『萬葉集の歌人としての作品』 下・埼書房

昭和五十年

○伊藤博 『萬葉集の表現と方法』 上・埼書房

昭和五十年

○伊藤博 万葉集の表現と方法 下・培書房

昭和五十一年

○伊藤博 万葉集相聞の世界 培書房・昭和

三十四年

○伊藤博 万葉のいのち 培書房・昭和五十

八年

○井上辰雄 古代王権と宗教的部民 柏書房

・昭和五十五年

○井上辰雄 古代王権と語部 教育社・昭和

五十四年

○井上秀雄

『古代朝鮮』日本放送出版協会・

昭和五十七年（第二十一刷）

○井上光貞

『日本国家の起源』岩波書店・昭

和三十五年

○井上光貞

『日本古代国家の研究』岩波書店・

昭和四十年

○井村哲夫

『憶良と虫麻呂』桜楓社・昭和四

十八年

○上田正昭

『日本神話』岩波書店・昭和四十五年

- 上田正昭 日本古代国家論究 塙書房・昭和四十二年
- 上山春平 埋もれた巨像 岩波書店・昭和五十二年
- 太田善磨 言靈考 東京学芸大学研究報告第五集・昭和二十九年
- 太田善磨 古代日本文学思潮論 (I) 桜楓社 昭和三十六年
- 岡内弘子 命と孝 萬葉第百十号 昭和五十七年
- 岡田精司 古代王権の祭祀と神話 塙書房

昭和四十五年

○大野晋 上代仮名遣の研究 岩波書店・昭

和二十八年

○大野晋 日本語ささかのほる 岩波書店・

昭和四十九年

○澤瀉久孝 萬葉の作品と時代 岩波書店・

昭和十六年

○澤瀉久孝 萬葉古径 三・日本書院・昭和二

十八年

○折口信夫 大嘗祭の本義 折口信夫全集第

三卷、中央公論社・昭和三十年

○折口信夫「言靈信仰」折口信夫全集第二十卷・昭和三十一年

○折口信夫「柿本人麻呂」折口信夫全集第九卷・昭和三十年

○折口信夫「上代貴族生活の展開」折口信夫全集第九卷・昭和三十年

○折口信夫「相聞歌」(同右)

○折口信夫「相聞歌概説」(同右)

○折口信夫「萬葉集研究」折口信夫全集第一

巻・昭和二十九年

○尾高朝雄『法の窮極にあるもの』有斐閣・

昭和五十七年（再版第二十七刷）

○小野寛『喻族歌と大伴家持』国語と国文学

第四十五巻第三号・昭和四十三年

○尾崎暢殃『大伴家持論攷』笠間書院・昭和

五十年

○川口常孝『萬葉作歌の世界』さるびあ出版

昭和四十一年

○川口常孝『萬葉歌人の美学と構造』桜楓社

昭和四十八年

○喜田貞吉「継体天皇以下三天皇皇位継承に

関する疑問」歴史地理・昭和三年（七月）

○北山茂夫「萬葉の世紀」東京大学出版会・

昭和二十八年

○北山茂夫「日本古代政治史の研究」岩波書

店・昭和三十八年（第三刷）

○北山茂夫「白鳳の宮廷詩人」萬葉第七号・

昭和二十八年

○北山茂夫「大伴家持」平凡社・昭和四十六年

○岸俊男、防人考、萬葉集大成II・平凡社・

昭和三十年

○久米常民、山柘論、国語と国文学第十七卷

第十号・昭和十五年

○小島憲之、上代作品解釈の一態度、国語国

文第一八四号・昭和二十三年

○小島憲之、出典問題をめぐる貧窮問答歌、

萬葉第三十四号、昭和三十五年

○佐佐木信綱、山上憶良、新聲閣、昭和十七

年（再版）

○ 西郷信綱 『古事記の世界』 岩波書店・昭和

四十二年

○ 西郷信綱 『萬葉の相聞』 萬葉集大成5・平凡社・昭和二十九年

○ 西郷信綱 『増補詩の発生』 未来社・昭和三十九年

○ 西郷信綱 『萬葉私記』 第二部・東京大学出

版会・昭和三十九年（第二刷）

○ 関冕 『律令国家と天命思想』 （東北大学日本

文化研究所編） 『神觀念の比較文化論的研究

』 講談社・昭和五十六年・所収）

○ 高木市之助 『憶良と旅人』 萬葉集大成9・

平凡社・昭和二十八年

○ 高橋進 『人倫の理法』 大明堂・昭和五十六年

○ 津田左右吉 『日本古典の研究』 津田左右吉

全集第一卷・第二卷・昭和三十八年

岩波書店

○ 津田左右吉 『古事記及び日本書紀の新研究』

津田左右吉全集別巻第一・岩波書店・昭和

四十一年

○ 津田左右吉 『日本上代史の研究』 津田左右

吉全集第三卷・岩波書店・昭和三十八年

○ 直木孝次郎 『日本古代の氏族と天皇』 培書

房・昭和三十九年

○ 直木孝次郎 『日本古代國家の構造』 青木書店・昭和四十二年

○ 遠山一郎 『アメの原理による天皇系譜の形成』 説林三十三号・昭和六十年

○ 遠山一郎 『アメノシタの用法』 萬葉第百十三号・昭和五十八年

○ 遠山一郎 『萬葉集のアメノシタと葦原水穂国』 萬葉第百十六号・昭和五十八年

○ 長谷川信好 『風をむに恋ふるはともし』 私攷『萬葉第百十八号』 昭和五十年

○橋本進吉 古代国語の音韻に就いて 明世

堂書店・昭和十七年

○永山勇 国語意識史の研究——上古・中古・中世—— 風

間書房・昭和三十八年

○田中克彦 ことはと国家 岩波書局・昭和

五十六年

○久松潜一、山柿と日本の性格 国語と国文

学第十八卷第一号・昭和十六年

○藤間生大、大伴家の歴史 萬葉集大成 5・

平凡社・昭和二十九年

○ フランシスコ・ペリス 『存在の理解を求め

る』 南窓社・昭和四十五年

○ 原富男 『修成道德論体系』 春秋社・昭和五

十六年

○ 松前健 『古代伝承と宮廷祭祀』 埼書房・昭

和四十九年

○ 身崎寿 『防人歌試論』 萬葉第八十二号・昭和

四十八年

○ 水野祐 『日本国家の成立』 講談社・昭和四

十三年

	○ 水野祐	日本古代王朝史論序説	小宮山書
	店・昭和二十七年		
	○ 水野祐	日本古代の国家形成	講談社・昭
	和四十二年		
	○ 柳父章	翻訳語成立事情	岩波書店・昭和
	五十七年		
	○ 吉井巖	天皇の系譜と神話	塙書房・昭和
	四十二年		
	○ 吉永登	万葉	創元社・昭和四
		文学と歴史のあいだ	
十二年			

- 吉野裕 『防人歌の基礎構造』 御茶の水書房
昭和三十一年（再版）
- 李基東 『孟子における仁と義の理法的性格
について』 倫理学第一号・昭和五十八年
- 和辻哲郎 『人間の学としての倫理学』 和辻
哲郎全集第九巻・岩波書店・昭和三十七年
- L. P. Wilkinson, *Cicero and the Relationship of Oratory to
Literature* (The Cambridge History of Classical Literature
II, 1982, pp. 230~269)
- J. G. Frazer, *The Golden Bough, A Study in Magic*

and Religion, Pt. I, 3rd ed., London, Macmillan, 1976

○ 阪下圭八 『初期万葉』 平岡社・昭和五十三年

○ 伊藤博 『防人歌群』 萬葉第百十九号・昭和

五十八年

○ 森重敏 『上代特殊仮名音義』 和泉書院・昭

和五十九年

○ 大石良材 『日本王権の成立』 塙書房・昭和

五十年

○ 太田青丘 『日本歌学と中国詩学』 清水弘文

堂書房・昭和四十三年

○青木生子 『日本古代文芸に於ける恋愛』 清

水弘文堂書房・昭和四十四年

○石尾芳久 『日本古代法史』 塙書房・昭和三

十九年

○武内義雄 『中国思想史』 岩波書店・昭和四

十年（第二十四刷）